

〔海況概要〕（令和2年1月2日～1月8日）

今週の本県近海の表面水温は、12～21℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕（令和2年1月2日～1月8日）

- 中小型まき網---正月休みで漁獲日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の46%（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げ（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり4トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣-----スルメイカが獲れ始め、対馬東岸地区では1日1統当たり93kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.4トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- 定置網-----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり564kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり788kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり441kgの水揚げ。
- 一本釣-----北松宇久地区では、ブリが1日当たり31kgの水揚げで、前週の21%（前年を下回った）。

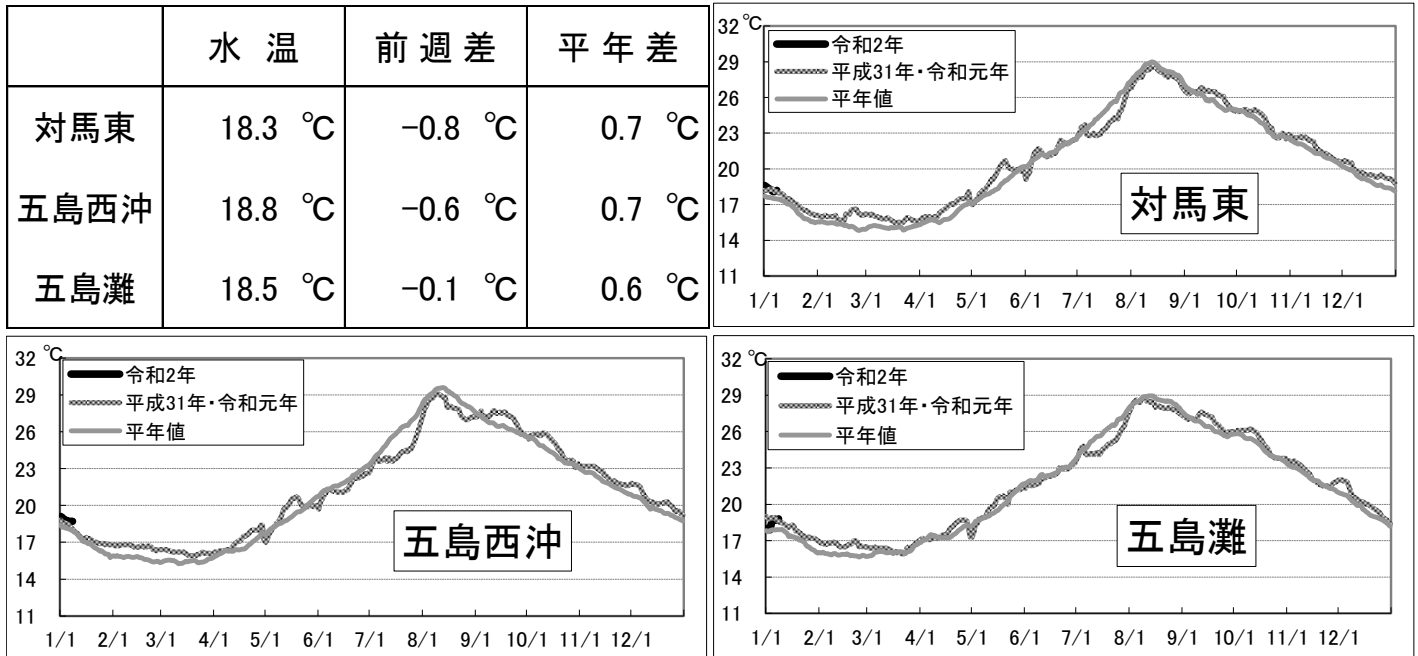
〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/31～1/8日の9日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐諸島北側～佐渡沖に出漁。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島～佐渡沖に出漁。鳥取県西部（沖合船）2日延5隻、総計359箱、1航海最高117箱、平均71.8箱。スルメイカを中心に漁獲、魚体は20入主体。今期は荒天模様で2日間操業、隠岐諸島周辺でスルメイカとケンサキイカがわずかに獲れた。
（漁業情報サービスセンターより）

〔海面水温情報〕 MGDSSST（人工衛星水温）〔気象庁発表〕より

令和2年 1月 2日～令和2年 1月 8日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。



〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-1号 長崎県周辺海域の海面水温（1月号）」を長崎県庁ホームページに掲載しています。長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>